

「現戦略」策定後の社会情勢の変化（案）

H28.11.22

■ 大変革時代の到来

- ICTの急激な進化とネットワーク化の急速な広がり
 - ・ ビックデータ、IoT、ロボット、人工知能など新たな科学技術の進展
- グローバル化の更なる進展と国際競争の激化
 - ・ グローバルな競争が激化する中で、組織外の知識や技術を積極的に取り込むオープンイノベーションの取組が重要視され、オープンサイエンスが世界的な潮流

■ 国・本道が抱える課題の増大と複雑化

- 地球環境問題の深刻化と資源・エネルギー事情の変化
- 人口減少と高齢化の急速な進行
 - ・ 労働力の減少、生産・消費の縮小、社会保障費の増大
- 都市部への人口集中と地方の過疎化の進行
- 大規模自然災害リスクの高まり など

■ 第5期科学技術基本計画（平成28～32年度）の策定

- ・ 大変革時代において、先を見通し戦略的に手を打っていく力と、どのような変化にも的確に対応していく力の両面を重視し、政策を推進して、我が国を「世界で最もイノベーションに適した国」となるよう導いていく。

<政策の4本の柱>

- ① 未来の産業創造と社会変革に向けた新たな価値創出の取組
- ② 経済・社会的課題への対応
- ③ 科学技術イノベーションの基礎的な力の強化
- ④ イノベーション創出に向けた人材知資金の好循環システムの構築